

アセスメント票

受付 No. 氏名：中原 みゆき 訪問年月日：平成 28 年 4 月 26 日		アセスメント対応状況 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭訪問（ 4 月 20 日）（ 4 月 26 日）（ 月 日） <input type="checkbox"/> 外来（ 月 日）（ 月 日）（ 月 日） <input checked="" type="checkbox"/> 電話等（ 4 月 18 日）（ 月 日）（ 月 日）		
訪問者所属：F 支援センター 訪問職員：松本 達也		訪問目的（事前に具体的に記入） サービス等利用計画（案）作成のためのアセスメント		
障 害 者 本 人 の 概 要	生活歴	<p>昭和 53 年 2 月 5 日、3000g で出生。1 ヶ月検診後に保健師からのアドバイスもあり、病院受診。ダウン症の診断を受ける。</p> <p>4 歳の時、父の仕事の関係で山梨県から千葉県市原市に転居。</p> <p>5 歳の時に脳波に異常があることがわかり、都内の病院に受診。以後抗てんかん剤を服用しているが、発作は 1 度もない。現在、年 1 回の検査を行っている。</p> <p>市内の青葉小学校普通学級を卒業後、中学から市原養護学校に入る。市原養護学校高等部卒業後、市原市が運営している「なぎさ福祉作業所」を利用している。</p> <p>最近では、両親も歳を重ね、いつまで本人の面倒が見られるか不安だと本人の妹（娘）に愚痴をこぼすことが出てきた。親亡き後の本人の面倒を妹（娘）にみさせる事はしたくないという気持ちは強い。</p>		
	障害者手帳	<input type="checkbox"/> 身障手帳（種 級） <input checked="" type="checkbox"/> 療育手帳（A の 1） <input type="checkbox"/> 精神保健福祉手帳（ 級） <input type="checkbox"/> 取得していない	年金 <input checked="" type="checkbox"/> 障害基礎年金 1 級 <input type="checkbox"/> 障害厚生年金 級 <input type="checkbox"/> 国民年金 <input type="checkbox"/> その他の年金	
	生活保護の受給	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし		
	障害支援区分	<input type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> 区分 1 <input type="checkbox"/> 区分 2 <input checked="" type="checkbox"/> 区分 3 <input type="checkbox"/> 区分 4 <input type="checkbox"/> 区分 5 <input type="checkbox"/> 区分 6 <input type="checkbox"/> 未認定		
	病歴・障害歴	年 月	事 項	年 月
	昭和 53 年	ダウン症の診断		
	昭和 58 年	脳波の乱れ（てんかん波）		
医療機関利用状況〔現在の受診状況、受診科目、頻度、主治医、どの疾患での受診〕	<p>・井川クリニック（上野）～1 年/回、ダウン症の専門医の受診、脳波（てんかん）の健診</p> <p>・京王病院～甲状腺機能低下症により通院していたが、数値が落ち着いている為、半年ごとに血液検査。</p> <p>さかもとクリニック～体調不良時</p> <p>服薬状況（服薬名・量）フェノバルル 0.5錠夕食のみ その他～眼鏡使用</p>			
医療保険 被保険者（本人・家族）	<input checked="" type="checkbox"/> 国民健康保険 <input type="checkbox"/> 記号 障害者医療： <input type="checkbox"/> 更生医療 <input type="checkbox"/> 育成医療 <input checked="" type="checkbox"/> 精神通院医療 <input type="checkbox"/> その他			
現在使用している福祉用具：	なし			
生活状況〔普通の 1 日の流れ〕 ※週間生活表が必要な場合は別紙に記入				
本人 (平日の流れ) 7:00 起床→朝食、準備→7:50 送迎バス乗車→8:30 作業所着→9:00～15:30 作業 →16:03 送迎バス乗車→16:40 帰宅→帰宅後は、自室にて過ごすことが多い→21:00 就寝 (土・休日の流れ) 月 2 回土曜日は、ひまわり地域活動支援センターのカラオケ教室に参加している。ひまわり地域活動支援センターは、なぎさ福祉作業所と同じ敷地内にあり、送迎バスを利用している。				
介護者 父～退職し、家にいることが多い。足腰が弱くなってきたが、送迎バス乗降場所まで毎日付き添っている。 母～主婦。午前中は近所に住む孫の面倒を見ているため、留守にしていることが多い。 妹夫妻～自宅のすぐ近所に住んでおり、孫を連れて頻繁に遊びに来る。姉妹の仲は良い。				

利用者の状況

1 生活基盤に関する領域

項目	チェック内容			本人の能力と制限 本人の環境と制限
	実態	希望	援助の要 ・不要	
経済環境	問題なし	無	不要	障害基礎年金1級受給。
住環境	問題なし	無	不要	親と同居。

2 健康に関する領域

項目	チェック内容			本人の能力と制限 本人の環境と制限
	実態	希望	援助の要 ・不要	
服薬管理	確認が必要	無	不要	一時本人が管理していた時期もあったが、飲み忘れなどもあり、現在は家族が管理。
食事管理	家族が対応	無	不要	
病気への留意	難しい	無	不要	家族が気をつけるようにしている。
体力	低下傾向	有	要	以前に比べるとすぐに息切れする。母親は体力維持を希望。やや肥満傾向。

3 日常生活に関する領域

項目	チェック内容			本人の能力と制限 本人の環境と制限
	実態	希望	援助の要 ・不要	
衣類着脱	声掛け確認要	有	要	作業所でも気をつけて声を掛けてもらいたい。
整容行為	声掛け確認要	有	要	髪が乱れていても気にしないので、声を掛けてもらいたい。
食事行為	ほぼ自立	無	不要	骨付きの魚は上手に食べる事が出来ない。
排泄行為	確認必要	有	要	生理時に下着を汚してしまうことがある。排便後の拭き取りが不十分。
睡眠	自立	無	不要	睡眠リズムは安定している。
入浴行為	半介助	無	不要	頭髮・背中に洗い残しがあり、母親が介助している。
ベットへ移乗	自立	無	不要	
屋内移動	自立	無	不要	家の中での移動は問題なし。
調理（後かたづけを含む）	母の指示で簡単な事は出来る	無	不要	母親の手伝いをする。（食器洗い・片付け等）
洗濯	母親と共に行う	無	不要	母親の指示のもとであれば雑だが一通り行う事が出来る。
掃除	要声掛け	無	不要	母親の指示があれば可能。（不十分）
整理・整頓	要声掛け	無	不要	母親に声かけされながら行うも、上手には出来ない。
ベットメイキング	半介助	無	不要	家では布団で寝ている。布団の上げ下ろしは自分で行うが、シーツ等がきれいに張れない
書類の整理	両親が行う	無	不要	すべて両親が対応。

買物	自分では出来ない	無	不要	お金の価値は理解できない。
衣類の補修	母親が対応	無	不要	母親が対応している。
育児				該当せず

4 コミュニケーション・スキルに関する領域

項目	チェック内容			本人の能力と制限 気づいたこと 本人の環境と制限 気づいたこと
	実態	希望	援助の要 ・不要	
意思表示の手段	言語(主に単語)	無	不要	単語で話し、言葉が上手に繋がらない。
意思伝達の程度	上手に自分の思いが伝えられないこともある	無	不要	家族でも本人が何を伝えたいのか理解できない事がある。
他者からの意思伝達の理解	一部可能	無	不要	簡単な内容であれば理解できる。
情報伝達機器の使用	困難	無	不要	電話等の機器の利用は困難。

5 社会生活技能に関する領域

項目	チェック内容			本人の能力と制限 気づいたこと 本人の環境と制限 気づいたこと
	実態	希望	援助の要 ・不要	
対人関係	積極的	無	不要	明るい性格で人見知りしない。
屋外移動 (近距離移動) (遠距離移動)	単独では難しい	無	不要	場所の認識等が出来ずに、常時付き添いが必要。
金銭管理	母親が管理	無	不要	すべて保護者が対応。
危機管理	難しい	無	不要	すべて保護者が対応。

6 社会参加に関する領域

項目	チェック内容			本人の能力と制限 気づいたこと 本人の環境と制限 気づいたこと
	実態	希望	援助の要 ・不要	
レクリエーション等 趣味	積極的に楽しむタイプ	有	要	歌うことが好き。月2回地域活動支援センターのカラオケクラブに参加するのを楽しみにしている。
旅行	旅行好き	無	不要	毎年秋に家族で一泊旅行に出かける。
当事者団体の活動	していない	無	不要	
各種社会的活動	していない	無	不要	

7 教育・就労に関する領域				
項目	チェック内容			本人の能力と制限 本人の環境と制限
	実態	希望	援助の要 ・不要	
教育		無	不要	気づいたこと 気づいたこと
就労	両親希望なし	無	不要	本人の意思確認が出来ないが、現状の生活に満足しているように感じる。
8 家族支援に関する領域				
項目	チェック内容			本人の能力と制限 本人の環境と制限
	実態	希望	援助の要 ・不要	
家族 ① 情報提供 ② 介護負担軽減 ③ 家族関係調整 ④ 社会参加	将来の生活に関する情報提供を希望 家庭関係は良好	有	要	グループホームや短期入所等の福祉サービスの情報提供を希望している。
<p>本人の要望・希望する暮らし なぎさ福祉作業所に通いたい。 カラオケ教室を続けたい。</p> <p>家族の要望・希望する暮らし (両親) 親が元気なうちは、引き続き、なぎさ福祉作業所に通わせたい。 もう少し自分の事を自分で出来るようになってもらい、人様にはなるべく迷惑を掛けずに生活をしてほしい。身だしなみや排泄等、なぎさ福祉作業所の職員の方にはご面倒をかけると思うが、声を掛けてほしい。 やや肥満傾向で、体力が落ちつつあるようなので、体力の維持が出来ればいいと思うが、運動が苦手な家庭での対応は難しい。 グループホームや短期入所等のいろいろなサービスの使い方を教えてほしい。 今までは使っていなかったが、今後の事を考え短期入所が利用出来るようにしてほしい。 これからいろいろな相談にのって欲しい。</p> <p>(妹) 自分にも家族があるので直接的な介助はなかなか出来ないが、面倒は見ていきたい。 両親がしっかりしているうちに、親亡き後の生活を描いておきたい。(準備しておきたい)</p>				
<p>関係職種からの情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぎさ福祉作業所の作業指導員 仕事は真剣に取り組む。明るい性格で作業所では人気者。やや頑固な所があり、自分の思い通りにならないと怒り出す事がまれにある。 ・作業所看護師 やや肥満傾向にあるが、てんかんもなく健康状態は良好である。 	<p>[家屋の見取り図] <input checked="" type="checkbox"/>持ち家 <input type="checkbox"/>その他 トイレ、浴室位置の形状、玄関、道路までのアクセスや段差等の記入</p>			
<p>その他の情報</p> <p>朝日ヶ丘学園では在宅の方を対象にした余暇支援を休日に日中一時支援として実施している。</p>				
<p>担当者所見 (注目すべき点、気になる点を含む)</p> <p>本人、母ともに困っていることはなく、現状に満足している様子である。本人の一番の楽しみは、地域活動支援センターのカラオケ教室に参加することである。</p> <p>平穏に暮らしている家族ではあるが、親もそれなりに歳を重ね、本人の今後について悩んでいる様子が伝わってくる。特に妹は両親以上に将来の生活について不安を感じている様子が伺えるため、現状の生活を維持しつつ、家族が将来の生活設計を描けるよう情報提供していき、福祉サービス（短期入所）の体験利用なども徐々に取り入れていきたい。</p>				